

ベイエリア、
つながる。



スケジュール

プレ運行と本格運行について

プレ運行は、臨海地域の交通需要増に速やかに対応するため、環状第2号線本線トンネル開通前から段階的に実施する先行的な運行です。本格運行は環状第2号線本線トンネル開通後に開始する予定です。また、東京駅・銀座への延伸、東京国際クルーズターミナル及び東京ビッグサイトへの乗り入れについても検討していきます。



プレ運行時のルートと対象停留施設

新橋



デッキからのアクセス：
ゆりかもめ連絡通路より、2D階段又はエレベーター-Bを下りてすぐ
地下からのアクセス：エレベーター-Bを上ってすぐ

プレ運行(一次)ルート



- プレ運行(一次)ルート
- 幹線ルート
- 晴海・豊洲ルート
- 勝どきルート

プレ運行(二次)ルート



晴海・豊洲ルートは、2021年4月以降に開始

虎ノ門ヒルズ



※2020年6月6日 開業予定

勝どきBRT



晴海BRTターミナル(暫定)



お問い合わせ

東京都都市整備局
Bureau of Urban Development
Tokyo Metropolitan Government



計画に関すること
都市基盤部 交通企画課
tel: 03-5388-3304
<http://www.toshiseibi.metro.tokyo.jp>

運行に関すること
京成バス株式会社
tel: 047-712-7400

TOKYO BRT

東京の臨海地域における交通需要の増加に速やかに対応し、地域の発展を支える新しい公共交通機関として、都心と臨海地域とを結びます。

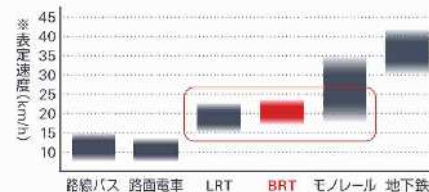
運行車両について

ブレ運行時は、環境性能に優れた燃料電池車両(単車車両)を中心に、一部連節車両(ハイブリッド車両)も使用していきます。将来的には、全車燃料電池の連節車両の導入を目指します。



BRTってなに？

Bus Rapid Transitの略で、「バス高速輸送システム」のことです。連節バス、PTPS(公共車両優先システム)、バスレーン等を組み合わせることで、LRTやモノレール並みの速達性・定時性の確保や輸送能力の増大が可能となる高次の機能を備えたバスシステムを指します。また、鉄軌道のように、線路を敷く必要が無いので、導入しやすいことも特徴です。



※表示速度とは、交通において二地点間の停止時間を含む平均的な速度のことです。

東京BRTでは本格運行時にLRT・新交通システム並みの表示速度を目指していきます(ブレ運行時10~15km/h、本格運行時20km/h以上)。

連節車両

従来のバスのおよそ1.5倍の輸送力を持った、東京BRTのシンボルと呼べる車両です。

単車車両 (燃料電池車両)

走行時にCO2や環境負荷物質を排出しない、水素を燃料とした環境配慮型の車両です。

※車両はイメージです。



シンボルマークについて

地域を「つなぐ」- 驚き、体験、にぎわい、変化

東京BRTは都心部と臨海部という二つの地域をつなぎ、新たな路線価値を生み出す役割を担っています。その象徴として両地域を表す二つの点をBRTがつなぐことで、シンボルである「B」をかたちづくっています。レインボーカラーが緩やかに変化する配色は、利用者の驚きや新しい体験であり、地域のにぎわいでもあり、また新しい変化を生み出す様子を表現したものです。

BRTの五つの特徴



到着時間が読める

停留施設での停車時間を極力少なくするため、本格運行時には、簡便な運賃の支払方法の採用、全ての扉での乗り降りを行います。

また、交差点でBRTの通過を優先させる、いわゆる公共車両優先システム等の導入を目指します。

※本格運行に向けて順次整備予定



「初めて」でも分かる

BRTは、路線図をはじめ、鉄道並みの分かりやすさを示すことで、利用しやすさを高めています。

また、多言語対応や様々な案内情報提供など、全ての方が利用しやすい施設整備を行っていきます。



乗り降りしやすい

車椅子使用者をはじめ、あらゆる方々がスムーズに乗り降りできるように、停留施設についてはバリアフリーに配慮した計画とします。

※本格運行に向けて順次整備予定



環境に優しい

車両は、環境負荷物質を排出しない燃料電池車両(単車)と、環境負荷物質の排出を低減したハイブリッド車両(連節)を採用します。

ブレ運行時は一部通常の路線バスも使用します。



統一したデザイン

車両や停留施設、乗務員の制服、各種媒体など、BRTシステム全てに統一されたコンセプトを導入することで、先進性の実現や分かりやすさの追求を図っていきます。



停留施設イメージ

停留施設は、シンボリックな車両とともに新たな路線を明示し、地域の拠点として居心地のよい洗練されたデザインとなっています。20メートルの長さを生かしたダイナミックなサインビームは、遠くからでも分かりやすく、まちのアイコンとなります。また、雨天でも乗降時に濡れないルーフ、BRT車両との段差のない路面、分かりやすい案内(サイン)等により、快適に乗車することができます。



BRT内装イメージ

BRT車両の内装は、木調素材による温かみのある雰囲気と、落ち着きのあるシックな座席シートにより、楽しく上質な乗車体験を創出します。

- 幹線ルート
- 晴海・豊洲ルート
- 選手村ルート
- 勝どきルート
- 検討路線

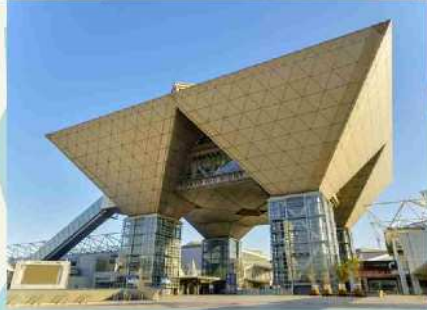
BRT Route

2022年度以降 本格運行



(画像提供: 森ビル株式会社)

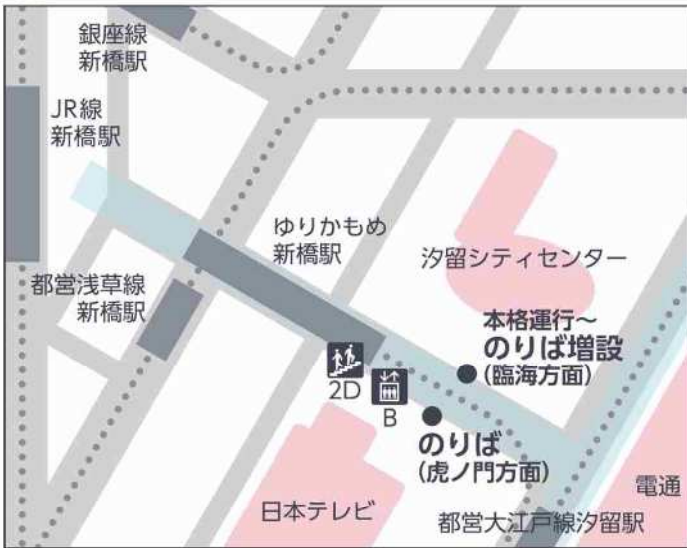
東京2020大会後の選手村のイメージ



※ ①②③の停留施設名称及び運行ルートは、本格運行時まで決定します。

停留施設位置

B01 新橋



デッキからのアクセス：
ゆりかもめ連絡通路より、2D階段またはエレベーターBを下りてすぐ
地下からのアクセス：エレベーターBを上ってすぐ

B31 **B32** **B33** 晴海五丁目 ※名称は本格運行時までに決定します。



B11 虎ノ門ヒルズ



※2020年6月6日 開業予定

B02 勝どきBRT



B03 豊洲市場前



B04 有明テニスの森



B05 国際展示場



B06 東京テレポート



B21 晴海中央



B22 晴海BRTターミナル(本設)



B23 豊洲

